

礫 陵 新 聞

発行所 新 聞 部
若 松 高 校 新 区 小 石
北 九 州 市 若 松 区 新 所
若 松 高 校 校 舎 新 所
若 松 高 校 校 舎 新 所
高 塔 印 刷 所 (株) 2987

5月28日	行事予定
5月31日	生徒校医検診
6月4日	月末大掃除
6月5日	実力テスト
6月27日	期末考査
7月2日	

生徒と密着した 生徒会を

去る四月三十日、体育館二階で行なわれた立会演説の後の投票により翌日、新執行部役員が発表された。

(会長) 藤井由房
(副会長) 松下精一
(副会長) 立石俊介
(書記) 広岡季司
(書記) 堀田悦子
(会計) 福沢栄一
(会計) 古川秀明

以上の通りである。次に元役員の人達の反省を述べていた。野口靖史(会長)は「私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。」



藤井由房(会長)は「私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。」

松下精一(副会長)は「私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。」

立石俊介(副会長)は「私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。」

広岡季司(書記)は「私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。」

堀田悦子(書記)は「私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。」

福沢栄一(会計)は「私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。」

古川秀明(会計)は「私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。私の私生活の反省を述べていた。」

四月三十一日、各クラブ予算案の承認を得るため、新執行部役員候補者の立会演説のための生徒大会が行なわれた。

今年度は、今まで新聞発行に使われていた五〇万円が体育部、文化部の遠征費に回された。しかし、どのクラブも予算案が採れなかった。

協力性に欠けた 生徒大会

ひき続き、五年度前期生徒執行部役員候補者の立会演説が行なわれた。

一、二年の各クラスの代表者一名を選出し、会長一名、副会長二名、書記二名、会計二名を選ばれた。また、去年のように改選が遅れるというところがあった。

演説中でもヤジを飛ばしたり、早くひきこめどもというように、手を叩いていた者が一部にいたことは、生徒会への無関心が本音で表れているように、大変残念なことである。演説者が「静かにしてください」とまで言わなければならぬ始末だ。これからの生徒会には、協力性に欠けた生徒大会が行なわれてはならない。

生徒の「若高はあらゆる面で最低だ」ということばに、対し討議された。質問に対して、「今の若高生は、自覚がなく、充実した生活を送っていないように思う。それに対して、最低だ」といふことばを使っても、それが暴言だ。それでは、自分自身に何を求めているのか、自覚をもち、自覚してほしい。演説者が「静かにしてください」とまで言わなければならぬ始末だ。これからの生徒会には、協力性に欠けた生徒大会が行なわれてはならない。

生徒の「若高はあらゆる面で最低だ」ということばに、対し討議された。質問に対して、「今の若高生は、自覚がなく、充実した生活を送っていないように思う。それに対して、最低だ」といふことばを使っても、それが暴言だ。それでは、自分自身に何を求めているのか、自覚をもち、自覚してほしい。演説者が「静かにしてください」とまで言わなければならぬ始末だ。これからの生徒会には、協力性に欠けた生徒大会が行なわれてはならない。

主張

礼儀、これは人間関係の上で最も大切なことである。また、礼儀のあるか否かで、人格評価にまでも影響するものである。そこで、礼儀の中で近頃気になる事を上げてみる。

その前に「礼儀」ということについて、辞書に載っている説明を上げてみた。「敬意を表わす作法」こんな風に、簡単な言葉で的確に言い表わされているが、いざ態度に出してみたいと指定されてもなかなか出来ぬ事であろう。

心のふれあいを

学校へ行く道での友人・隣近所の人に対する明るく気持のよいあいさつをした時、何か自分いやら事があったとしても、この明るい心のこもった「おはよう」という一言で、気持ちがスッパリする事がある。そしてそれによって一日を気持ちよく出発する事ができるのではないだろうか。

次に、人と人の対話の中の事について例を上げてみる。AさんとBさんがある会話をしているとする。何だかとても楽しそうに

話しかけ合っているが、その中にはお互いにズサンとする言葉がたびたびあるのだ。自分相手としては「ユーモア・冗談のつもりでも、相手にとっては、とてもなげかんとくも、ことわざがあるが、まさにこれにぴったりである。何の気なしにしゃべっていても、相手からトラブルが起る事が、親しければ親しいほど相手に対する態度が心の配

い等の事が非常に重要な事になって来た。それらは、いつの日か分らない。知らぬ間に、いつの間にか、やがて、我々一人一人の心を豊かにし広がりを持つ事、また個人、自分本位な考えを捨てる事ではないだろうか。礼儀、礼儀は、ある程度常識といつたものに含まれるが、これが本物になるのは、この小さな事から生まれるものである。

若高戯評



生徒:おはたん、僕がー、待ってんたよ。おはたん:愛嬌...愛嬌...果だろ?? (心の中で)

生徒会の運営を中心として行なう者を選ばれたが、こういう態度でよいのか。演説終了後、二年のある

生徒の「若高はあらゆる面で最低だ」ということばに、対し討議された。質問に対して、「今の若高生は、自覚がなく、充実した生活を送っていないように思う。それに対して、最低だ」といふことばを使っても、それが暴言だ。それでは、自分自身に何を求めているのか、自覚をもち、自覚してほしい。演説者が「静かにしてください」とまで言わなければならぬ始末だ。これからの生徒会には、協力性に欠けた生徒大会が行なわれてはならない。

礫 陵 言

発せられた言葉なり現象するものが、それらを感じ取る対象に到達する前に、あえなく失墜してしまふ。或は、対象によって感覚された場合でさえ、それらの持つ意味がすでにその貌を変えていっている。鉛のごときアバシーがいま私たちの身の奥深くに在る。私たちの感じるこのアンニュイは春の陽気のせいばかりではない。▼カンボジアにおけるロン・ノル政権の崩壊とそれに次ぐ南ヴェトナムにおけるサイゴン政府の崩壊——これらは日本をも含めて東アジアが激動する歴史の只中にあることを示している。だが、この世界史に重大な局面に際して、私たちの(歴史感覚)は、あたかも麻酔をかけられた四肢の筋肉の如くに鈍重である。私たちの社会にいま時空を超えた共同存在としての(歴史感覚)を探しあてることが極めて困難なことに思われる。これは、私たちの(存在)の総体が丸抱えにされたまま虚構化された(歴史)を生きていくことに他ならない。▼いったいに、(歴史)を生きていく(歴史感覚)を共有するとは個の(存在)とそれを支える社会状況との間、きわどくあやうい綱渡りを指示している。すなわち、此岸(個)から彼岸(普遍)への架橋こそが、人をして(歴史)存在にたらしめるのである。▼日常生活圏のなかで私たちはどれほど(歴史)的で在り得るのかという問いかけが今日ほど私たちの課題として在ったこととはない。その問いかけは、私たちの学校空間においては、何故に私たちは学ぶのか、或は学ぶことにおいて何を表現していくのか、ということになる。私たちは今、深く歴史に根ざすために強固な忍耐力と雄気ある思想を放している。(無名鬼)

一年生インクビュ

上級生はおいさんばっかり

入学式から約一ヶ月、学校生活にも慣れようやく落ちついた様子の新一年生の皆さんに今回は若高に入学しての感想をきいてみることにしました。

・乱れている
・カッコイイ男の人が少ない(いや全くない)
・上級生のおいさんばっかり

・少し
・大それた
・便所場にだけ慣れた
・中学校と高校との違いはどんなところですか

・ボマードの臭いが強い
・困る
・若い先生、女の先生が少ない
・ありや戦争が

・座が少ない
・生存競争が激しい
・死傷者がでる
・ありや戦争が

・若高を何故選んだのですか

・家が近いから
・頭の程度にあわせたらここしか来るところがなかった



・勉強勉強で遊ぶ暇がない
・三年(中学)から一年になつた
・県立と市立の違い
・二階建てと四階建ての違い
・男子の制服のボタンが

・よくわからない
・足もとに及ばない
・あこがれが多い
・ありや長髪族だ(ホントニ)

・あほみたい
・OPENにやろう
・相手がいないので
・きちがいが多い
・バイク通学についてはどうですか

・若高の印象は

・校舎から落ちたらどうなるかな
・バカが多い
・学校にはもう慣れました

・③から④のマークに変わった
・アイドルになれた
・アホが多い
・先生について何か

・やさしい
・体育部の男子がガガが悪い
・スモーキング
・食堂の感想はいかがですか

・遠い人決行
・よくわかりません
・それでは最後に若高に期待することは何ですか
・O点とつても落第にしないで下さい

学生らしい交際とは

人口約一億一千万人ものあふれそうなる人々を積み重ねて活動している日本。その中で私たちは色々な人と出会い、また色々な生活をしていく。さまざまな所々で、色々な人を見て、情報社会とよばれる現代の波に、うまくのり、リズムをあわせて生活をしていく。私たちは、地球という星に動物が生まれ育ち、その動物の一種類である「われら人間」男性と女性がいって人間社会を築き、子孫を残し、文明を進ませ

る。つまり、私たちは大きな舞台をふんで暮らす俳優である。これらの社会の中で、一つの現象として見られる男女交際についてのべてみよう。

私たちが町に出ても、公園へ行っても男女のカップルは、いつでも私たちの視界にはいつくくる。私たち学生の中でも、男女交際というものは珍しくはないだろう。「男女交際」と一言に言っても、中味は幅ひろく、限らないものであり

この大人たちが、学生の交際に、どれ程真剣なまなざしで見ているのか。この大人たちは、「学生らしい」という一つの言葉を、どうにか、も、学生らしいという言葉に、ある一定の範囲があるならば、私たちはその一定範囲の中で、常に大人の視線を気にしながら、一つの規則に従いながら交際を続けなければならないのか。私たち若者は、生まれてから生きて、世の中の秩序を乱さない限りの自由権をもっているはずだ。しかし、持っているからと言って、それを無責任主義へ



結びつけてはいけない。私たち若者には自由権があるかわりに責任という大きな役割があるのだから……。

これからの社会を背負って生きて行く私たち。すべての大人たちが、今のべたような状態にいたいとしても、私たちは、いつでも、私たちが、責任という大きな役割を持つて、交際というものを続けていってほしい。

四月十九日、我々新聞部九名は、県立小倉西高校を訪問した。小倉西校は下津の電停のすぐそばで、近くに東筑紫や西筑紫などがある。

明治31年に創立され、生徒数は千二百五十名。昔、女子校であったため、どの学年も女子の比率の方が、上まわっている。そのため男子が少しおとなしいそうだ。一年生に二級級の家政科のクラスがあり、他は普通科である。普通科の生徒はほとんどが大学に進学している。欠点は30分程度で追試が行われる。

我々は校門にはいるといきなり大きな声で歌を聞かされた。一年生がずらりと並び、腕章をつけた上級生の「声がかさささ」もつと大きな声で歌え、なごという声であつた。これは、応援歌指導といつて伝統的なもので、一年生と上級生の交流をはかる為のものである。一年生は応援歌指導期間中は、上級生にお互いの態度の確立・学習意欲を高めること、女子をふやそう

で、女子のカーン、パーマは禁止。時々着帽の抜きや検査があるなど、我々に比べ、比較的きびしいが男女交際については、自由であるようだ。教育目標の自主的態度の確立・学習意欲を高めること、女子をふやそう

以上がインクビュの結果であった。新一年生の皆さん若高に入つてまだ間もないけれど高校生活三年間の間に、多くの苦しみや悲しみ、楽しみがまわっています。また社会に出て味わうことのできないようなそんな思い出をたくさん作って下さい。

雪の降る日に、あけたい誰か。部室の中に、男が一人と女がひとりいました。朝になつてみると女の人が死んでいました。どうして死んだのでしょうか。

大部分の人は、いらない理由。紙の上ではあえて解答を深く追求しないことに致します。わからない人は近くの新聞部員にお尋ね下さい。きつと親切に教えてくれると思います。

他校訪問

伝統の応援歌指導

— 小倉西高校 —



欲の向上・勤労意欲の向上のもとに、全体的におとなしくまじめで、盗難がほとんどないというところは、我々校にとつてうらやましい限りである。

冬には寒げいがあり、男子はマラソン、柔道、女子はマラソンだけというところである。また補習も希望者だけということで行なわれている。

二時間ばかりの話を聞いて、校舎内を案内してもらつた。わりと古い木造の校舎であるが、そうじがいきとどいてあつた。食堂も我々のすぐそばの大きな花がざららあつた。花壇には、色とりどりのチューリップが咲いており、我々の目を惹きつけてくれた。教室には「一番学級」と名がついており、階段が古風な感じの造りで、何となく落ちついた雰囲気であつた。図書館は蔵書は多いそうである。楽しい話らしいので、我々は応援歌指導の後に、若松への帰路について話した。

あなたに愛されるメガネを作ります

高遠クーポン大歓迎
区内全眼科指定・コンタクトレンズ代理店

アイチ眼鏡店

〒908 若松区本町三丁目8 24 TEL (761) 3312

天下一品

珍軒

一本町銀座—(761) 5595

D.P.E カラープリント撮影

ダイワ写真工芸

若松区上原町(若松高校前)

TEL (77) 3173

高校生活を意義あるものに

～50年度オリエンテーション～



カメラアイ

教室に花がある。何と気持のいいことだろう。最近「校内がきれい」「落書きが多い」などと、さかんに言われてきたが、今回は、この美化に気を使われない学校の中で、ひとときだけ花のある教室についてとりあげてみよう。

花が飾ってあるという事は、別にたいしたことではないのかもしれない。花があるからといって、成績が上がるわけでもない、おなかがいっぱいになるわけでもない、おなかがいっぱいになる人も多いいのかもしれない。花のある教室は、どこかちがっている。落ち着きがあつて、さわやかな気分になつてくる。教室の美化。ほんの小さな事かもしれないが、この小さな事で、気安まるなんて、すばらしいことではないだろうか。

四月十二日、三時限目、本校体育館二階に於てオリエンテーションが行なわれた。三十五のクラブの代表者が集まり、文化部、体育部の順に演説が進められた。一分前後の限られた時間の中で、どのクラブも簡単な自分達のクラブがどのようなものかをうまく伝えていた。

元談話室にアビールの音、まじめのあり方を提示する者、中にはヤジを飛ばす代表者もいた。また専門的にアマチュア無線の説明をしていた。音楽部は実際に楽器を取り出して簡単な曲を演奏し、一年生の興味を引いていた。

体育クラブでは、ラグビー部が桜の枝を持ってきたり、機織部の歌まで出てくるという具合で、どのクラブも一生懸命な姿がうかがえた。しかし一年生にとっては、どのクラブも良い面ばかり暗示してくるので、かえって自分に最適なクラブを見つづけるのに迷つたのでないだろうか。



去る四月二十五日、新一年生のための歓迎遠足が行なわれた。

二、三日前から降り続いた雨も前日には上がり、好天に恵まれ、午前九時、二岳部を先頭に、三年生、二年生、一年生の順に、高塔山を目標として出発した。コースは例年と同じく石峰山を越えて高塔山へ。初めは意気揚々と登っていた者も、途中で疲れを隠しきれず、休憩していた。前列に選れないようにと汗を拭き拭き登る者、「きつい」を連発している者。早くもお弁当が気になる者。中には坂道でも平気で駆け登る者。友人や先生方と楽しく話している者。みんなそれぞれ疲れを見せながらも楽しそうに登っていた。時折聞こえてくるうぐいすの声を聞きながら、約二時間の山道を終えて、待望の高塔山に到着。

点呼後解散。みんなが待ちに待った昼食の時間。友人どうし、日陰を求めながら散らつていった。

自由時間に毎年開かれていたフュークダンは、今年電源の都合により行なうことができなかった。

二、三年生の中にはいつフュークダンを開かれるかと広場の方を気にしている人も少なくなく、なかつたようだ。一年生の中にも噂に聞いていたフュークダンを知らない者もいた。毎年参加者が少なくなつたフュークダンをどうにかしたいと、ちやんと淋しい気もしたが、みんなそれぞれに自由時間を楽しんでたようだった。

担当の梅本先生の指導により、校歌の練習が行なわれた。それぞれのクラブ代表者の説明をもとに、高校生活三年間をより有意義に過ごしていくために自分自身に最適なクラブを見つけ、その中からより多くのものを見つけてほしいものだ。

日頃から

まじめに勉強を!

今年もあつたしかなかった受験シーズンを終え、ここに卒業生の進学状況を列記してみた。

国立大学	現役	浪人
岡山大	1	1
広島大	0	1
高知大	2	0
九州大	1	5
長崎大	3	4
熊本大	1	1
宮崎大	1	1

公立大学	計
山口大	2
九工大	1
福教大	4
鹿児島大	0
水産大	2
計	18
公立大学	19
下関市大	2
北九大	5
長崎大	1
熊本大	1
計	9
私立大学	計
中央大	1
東海大	1
東大文	1
日本女大	1
法政大	1
明治大	1
早稲田大	1
慶応大	1
慶応大	1
京大	1
京都大	1
京都大	1
同志社大	2
立命館大	0
計	36

近畿大	計
近畿大	2
関西学院大	1
松山商大	0
九産大	13
久留米大	9
西南大	6
福岡大	22
福工大	6
八幡大	3
長崎造形大	2
九州造形大	2
九州電気大	1
中村学園大	1
熊本商大	2
大分工大	1
関西外語大	0
東亜大	4
駒沢大	0
広島工大	4
酪農学園大	2
青山学院大	1
国学院大	1
甲南大	1
日本福祉大	1
社会事業大	0
大東文化大	0
大阪経大	1
二松学舎大	1
九州学院大	1
高野山大	0
徳島文理大	0
大阪産大	0
中村学園大	1
京大	1
同志社大	1
立命館大	0
計	98

短期大学(現役のみ)	計
九大附属医療	1
西南女短大	5
東筑紫短大	3
折尾女子短大	1
福岡県立社会保育	2
山口芸術短大	1
九州造形短大	1
九州電気短大	1
中村学園短大	1
熊本商短大	3
大分短大	1
関西外語短大	1
東亜短大	1
駒沢短大	1
広島短大	1
酪農学園短大	1
下関女短大	1
九州女短大	1
松陵女短大	1
福岡女短大	1
計	28

各種学校(現役のみ)	計
辻調理師学校	1
東放学園	1
修成建設専門学校	1
東海工業専門学校	1
京都工芸専門学校	2
戸畑高等職業訓練	2
美萩野臨床衛生	2
美萩野保健衛生	3
福岡教員養成所	2
国立カセツカセ	1
広大歯科理工学級	1
計	17

以上、例年に比べると国立大学合格者がやや下回っていることが見受けられた。今年は、どの大学も「狭き門」と言われていただけに、受験生にとっては大変酷だったであろう。

進学指導の先生に総評を伺うと、「国立大学合格者が昨年よりも少なくなつてきた。これは毎年言えることだが、受験勉強のとりかかりが遅いというところが原因だと思つて。受験数ヶ月前にあつてやつてもだめだ。やはり、教科書中心で毎日欠かさず予習・復習をすればそれが受験勉強にも繋がります。大学にも必ず合格できると思つて。」と述べられた。

我々も、今の学習態度を振り返って反省し直す面があるのではないだろうか。

先生宅訪問

去る四月十七日、我々新聞部員六名は、今年我が校に転任されたきた松崎校長先生の自宅を訪問した。広い庭を横に緊張した気分も和んだところで質問にとりかかった。

出身地と出身校は「東京高等師範学校(教育大)今の筑波大」。

先生になられた動機は「生徒と一語に遊ぶ事が好きだから」。

先生になられた経緯は「先生になられた経緯は、色々あるけど授業について生徒の眼が輝いてきて、一生懸命自分の話を聞いてくれる時だ」。

「生きがいは、若松高校がらつたに在る。そしてみんなが幸福に食ふ事。坐禪、ドライブ旅行。でも暇がないから」。

自称、柔道プロ、校長先生の巻

「好きな言葉は「歩々これ道場」」。

「好きな言葉は「歩々これ道場」」。

「好きな言葉は「歩々これ道場」」。

「尊敬する方は、坐禪の先生と中学時代の柔道の先生」。

「柔道の先生、最もすばらしい職業についていく一つの芸術家のようだね。お金で買えないものがあるよ」。

「家にいる時は、あまり時間がなくて主に坐禪と勉強をするね」。

「御自分の性格をどう思いますか」。

「昔は気が短かかったけど最近はおどろきのんびりしていると思うよ。自分で言うのもおかしいけど、正直人間味がある」。

「初志は、いつ頃を初恋というの?」。

「奥様から見られて先生は、あまりやらないよ。あきらめているよ」。

「自分がしようと思ふ事は、とことんまでやってみよう」。

「点数にすると、オホホホ……」。

「先生はいパチリ」。

「お酒は、つき合い程度。相手が飲む時は飲む……」。

「お子様は何人ですか」。

「男二人女二人の四人。係が五人。(奥様と顔を合わせ)もう、じいさんです」。

「男女交際について」。

「自然な形で公明正大に堂々とやるならいいけど、最後に若高生に対して何か」。

「先生と力を合わせてすばらしい高校にしてほしい。絶対できるんだから。みんなが若高生としての自覚をもち、先輩たちの恩を忘れずに、みんな若高生をもちあげたいですね。やりましょうよ」。

「どんな質問にも気軽に答えてくださる先生。体育クラブなどの話をし、暖かいおもてなしをうけた後、我々は帰途についた」。



「御趣味は、食ふ事。坐禪、ドライブ旅行。でも暇がないから」。

「若松高校がらつたに在る。そしてみんなが幸福に食ふ事。坐禪、ドライブ旅行。でも暇がないから」。

「若松高校がらつたに在る。そしてみんなが幸福に食ふ事。坐禪、ドライブ旅行。でも暇がないから」。

龍 そば

本町銀座 TEL (77) 4320
TEL (77) 4047

スポーツ用品ならなんでもそろう 水野運動用品店

若松区本町三丁目9番30号 TEL (66) 2246

楽しいくらしのショッピング



本町3丁目 TEL (76) 1231

荒れほうだいの部屋

前々から問題になっている盗難ではあるが最近では警察問題になるほどのあり様。特に運動部の部屋はひどい荒れよう、損害も高額に及ぶ。そこで我々新聞部は、盗難と部屋の改善を兼ねて各クラブの部屋調査を行なった。結果は次の通りである。

- 最近、運動部や文化部の部屋において頻りに起こっている盗難事件について、我々新聞部は、プール下の部屋、及び多額に渡る盗難の被害にあつた、女子バレー部、女子テニス部の部屋の実態調査、盗難調査を行つてみた。その中で特に目立った事は、プール下の部屋に照明器具がなくて困っていることだつた。以下は調査の結果である。
- 一山岳部
- ①電気の代用は何も使用していません。
 - ②何も使っていない。早く帰るようにしている。
 - ③電気がないことに不満はありません。
 - ④整備をする時に暗くならなくと困る。
 - ⑤ドア、ガラス、カベ等、破損している所があれば、破損しない所があれば、破損しない。
 - ⑥最近一年間で盗難にあつたものがあれば具体的に、〇体操服
 - ⑦部屋に対する全般的な不満、意見、要望。
- 〇ガラスが割れた後をベニヤ板で修理しているので、暗い。
- 一英会話部
- ①何も使用していない。
 - ②雨の日等暗くて困る。
 - ③ガラスが全部割れていてベニヤ板でふさいでいる。
 - ④テープレコーダー、辞書
 - ⑤電気が使用できない事
- 一新聞部
- ①何も使っていない。
 - ②記事を書く時に困る。
 - ③窓ガラスが割れている。
 - ④マジック、ボール各種
 - ⑤目が悪くなるので是非電気を付けてほしい。
- 一入形劇部
- ①何も使用していない。
 - ②冬は五時以後使えない。
 - ③窓ガラス破損、天井からプールの水がもる。
 - ④なし。
 - ⑤狭い。夏は暑くて困る。
- 一演劇部
- ①何も使用していない。
 - ②地区大会が近づく、練習が遅く、あまり不便。
 - ③窓にカギがかからない。
 - ④鏡、テープレコーダー他

ラグビー部

今回は前回のクローズアップその2に引き続きラグビー部にスポットをあてることにした。このシリーズでは女子陸上部、女子バレー部といずれも女子クラブで、男子クラブは、はじめとあって少々緊張感みでインタビューにかかった。

一ラグビー部に入った動機は何ですか

一好奇心から

一最初はわりやりましたけど今はたのしい。

一現在の部員数は何人ですか

一年生十二人、二年生五人、三年生十人、マネージャーが二人です。

一最近の主な大会は何ですか

一新人戦です。(結果は五位だそう)

一五月十日に九州大会がありました。

一毎日どのような練習をしていますか

一基礎体操からダッシュ、ランニングパス、スタートダッシュ、スクラム、タックル、セイビング、個人技術などを主にやっていますが

いつも、走ることに気をくばって練習しています。

一練習は何時ぐらいまでやっていますか

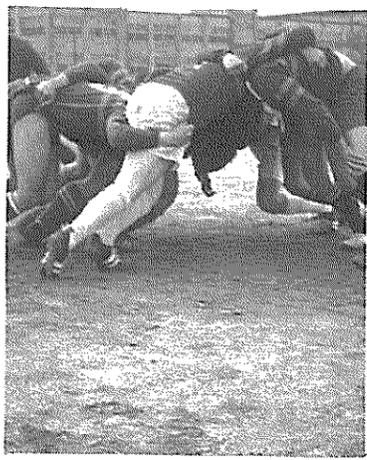
一だいたい七時までですが真暗になるまでやっています。

一勉強と練習は両立できますか

一なかなかできません。睡眠はいつも授業中です。

一今までに悲しかったことは何ですか

一試合の時、他校は応援が多いのに、いつも若高は少ないことです。



一では、うれしかったことは

一やっぱ試合に勝ったときです。

一ラグビーを通じて得たものは何ですか

一人間形成です。

一精神的には忍耐がついたこと。

一今後の目標はどういうことですか

一まず、県大会に出場して

- 一映画部
- ①何も使っていない。
 - ②冬は仕事が進まず困る。
 - ③窓ガラス、カギ、壁穴。
 - ④なし。
 - ⑤部員以外の立入りがある。
- 一文芸部
- ①ロソク
 - ②ある
 - ③窓ガラスがない。
 - ④ない
 - ⑤せまい。ガラスがほしい。
- 一サッカー部
- ①何も使用していない。
 - ②ない
 - ③柔剣道具、シューズ他
 - ④新しいロッカーがほしい
 - ⑤バスケット部(男子)
- 一バスケット部(男子)
- ①ろうそく
 - ②遅くなる到着替えに困る。
 - ③ガラスに穴、カギがない。
 - ④四月二十九日時計と八千円。
 - ⑤電気がカギがない。
- 一バレー部
- ①体育館のこもれば
 - ②ある
 - ③窓ガラスが割れている。
 - ④ジャージ二枚、靴二足
 - ⑤狭い。天井が低い。
- 一ハンドボール部
- ①ロソク
 - ②物をさがす時困る。
 - ③窓ガラスにひびがある。
 - ④柔剣道具、現金三千円他
 - ⑤せまい。電気がほしい。

新任紹介

今年度は十三人の先生方が各校へ赴任された。

さつきインクビュウを

一、担当科目 二、出身校 三、趣味 四、若高生について 五、抱負

〇松崎(校長)先生 二、筑波大学

三、食へる事 坐禅

四、みんなが協力して若高をあげてほしい。

五、若高が伸びるようになるのがうれしい。

〇上野先生

一、物理 二、福岡学芸大学

三、写真、機械電気スポーツ

四、写実、機械電気スポーツ

五、生徒に負けぬように頑張りたい。

〇島津先生

一、英語

二、長崎大学経済学部

三、読書、旅行

四、大変元気がつらつとしていて好感もてる。

五、生徒諸君に負けぬように頑張りたい。

〇河野先生

一、物理

二、明治専門学校

三、草花作り、読書

四、おとなしく、素直な感じがある。

五、不慣れな若高の発展のため頑張りたい。

〇安武先生

一、化学 二、明治工専

三、読書、園芸

四、伝統ある学校ですからその力を発揮してほしい。

五、生徒諸君の能力が発揮できるようにしたい。

〇上島先生

一、国語 二、国学院大学

三、旅、絵を描くこと、土いじり。

四、りっぱな図書館、夜間照明のある運動場など良い環境の中、勉強できること、をうらやましく思う。

五、早く本校に慣れ、生徒の皆さんと一緒に喜び悩み考えていきたいと思う。

〇進先生

一、古文・文法・漢文

二、京都高校

三、レコード鑑賞(映画音楽)、書道

四、自由で東洋風というものがなく、先生との間にも隔たりというものが感じられない。

五、早く若高の雰囲気に慣れて、授業を離れて生徒と接したい。

〇重住先生

一、国語

二、早稲田大学

三、園芸・生花

四、外に出る意欲が欲しい。上品でなくよい意味での野性味を望む。

五、教育の厳と寛を実践してゆきたい。

〇入江先生

一、物理 二、若高

三、釣り・麻雀

四、三年前迄は、私自身生徒としてこの新聞の一読者であつたわけで、どうも客観的になれない気がする。

五、私は物理の実験助手であると同時に、学生でもあるので、相談事などあれば、物理教室を遠慮なく訪ねてほしいと思う。

〇田島先生

一、日本史

二、法政大学文学部史学科

三、旅行・フェンシング

四、全体的に勉強に対する興味が高いように思う。各自が将来の進路を早く見つけてそれに向つて努力するところが一番大切。

五、私は諸君を信頼して行くので、諸君も私を信頼してほしい。

〇副田先生

一、英語

二、早稲田大学英文科

三、散歩

四、全体的に勉強に対する興味が高いように思う。各自が将来の進路を早く見つけてそれに向つて努力するところが一番大切。

五、私は諸君を信頼して行くので、諸君も私を信頼してほしい。

〇堀之内(事務)

一、九州大学短期大学部

二、囲碁

三、園芸・生花・読書

四、活気に満ちあふれた言行には好感もてる。

五、特になし。

〇庄(図書)

一、福岡女子師範学校

二、園芸・生花・読書

三、園芸・生花・読書

四、活気に満ちあふれた言行には好感もてる。

五、図書館の機能を果たすために努力したいと思う。



環境の中で勉強できること、をうらやましく思う。

五、早く本校に慣れ、生徒の皆さんと一緒に喜び悩み考えていきたいと思う。

〇進先生

一、古文・文法・漢文

二、京都高校

三、レコード鑑賞(映画音楽)、書道

四、自由で東洋風というものがなく、先生との間にも隔たりというものが感じられない。

五、早く若高の雰囲気に慣れて、授業を離れて生徒と接したい。

〇重住先生

一、国語

二、早稲田大学

三、園芸・生花

四、外に出る意欲が欲しい。上品でなくよい意味での野性味を望む。

五、教育の厳と寛を実践してゆきたい。

〇入江先生

一、物理 二、若高

三、釣り・麻雀

四、三年前迄は、私自身生徒としてこの新聞の一読者であつたわけで、どうも客観的になれない気がする。

五、私は物理の実験助手であると同時に、学生でもあるので、相談事などあれば、物理教室を遠慮なく訪ねてほしいと思う。

〇田島先生

一、日本史

二、法政大学文学部史学科

三、旅行・フェンシング

四、全体的に勉強に対する興味が高いように思う。各自が将来の進路を早く見つけてそれに向つて努力するところが一番大切。

五、私は諸君を信頼して行くので、諸君も私を信頼してほしい。

〇副田先生

一、英語

二、早稲田大学英文科

三、散歩

四、全体的に勉強に対する興味が高いように思う。各自が将来の進路を早く見つけてそれに向つて努力するところが一番大切。

五、私は諸君を信頼して行くので、諸君も私を信頼してほしい。

〇堀之内(事務)

一、九州大学短期大学部

二、囲碁

三、園芸・生花・読書

四、活気に満ちあふれた言行には好感もてる。

五、特になし。

〇庄(図書)

一、福岡女子師範学校

二、園芸・生花・読書

三、園芸・生花・読書

四、活気に満ちあふれた言行には好感もてる。

五、図書館の機能を果たすために努力したいと思う。

編集後記

桜の花も散り、やわらかな春の日差しが一段と感じられる頃となりました。新学期が始まりました。もう一ヶ月の月日が流れました。

今、あなたが手にしている磯陵新聞第百三十七号は、若高に入学生として読む新聞でしようね。その第一印象

は良からず悪からず色々あるかもしれませんが、次回から読んで下さい。今回は前号までは違って、二面にツイズを折りこんで、一段と楽しく読んでもらうが、面白おかしく読んでくれたらいいですね。近頃は校内で盗難がひんぱんに起こっていますので、体育や教室移動の際には、必ず所持品も共に移動して下さい。いつ、どこで何があるかわからないのです。またロッカーの中に入れていたつもりでも、なくなっている

ことも多いことだし、くどいですが、貴重品には気を付けて下さい。最近感じることですが、風紀が以前よりみだれている感じがします。先日、校長先生から注意がなされましたが、土足の件は、いまだに直りません。しかし、悪い事ばかりではありません。良い面も多種多様あるので、それは、みなさん自身で見つけ、それを見つめ直し、短所を直して下さい。全校のみなさん、風紀を守るように、心がけて下さい。

い。何だか主張がみに編集後記となつてしまいました。ところでみなさんにお知らせがあります。前号までは、おなじみの版本印刷で、お世話してもらっていましたが、経済状態もきびしくなつて、今更には高塔印刷で、やっておりますことになりましたので、少し、以前よりも読み合いが変わつたかもしれませんが、今まで通り磯陵新聞を、御いさの事よろしくお願致します。

新刊・参考書・雑誌のことなら

石松書店

若松区本町二丁目10-9 TEL. 761-2415

教科書、参考書、新刊書籍、雑誌

文ちゃん書店(本店)へ

若松区本町2丁目9-13 TEL. 761-3917

写真なら

銀影

口一タリ一横

TEL. 761-4786